生活応援バンク ろうきん

森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト

雑誌のインテリアページに夢中になっている自分に気づきました..。

リニューアル最初のゲスト、三澤文子さんは「木を活かして使うことで日本の森林が元気になる」をモットーに、各地で木造住宅設計を手がけるだけでなく、木造建築に関わる人を育てています。家づくりを考えている方、必見ですよ。

森羅万象

Q.富士山にまつわる思い出は？

生まれ育ったのが富士市で、富士山は毎日見ていましたよ。これまで2度山頂まで行ったことがあります。私の思い出ではないけど、母が富士山の麓出身で、若い頃山小屋でアルバイトをしていたそうです。当時の写真があればよいのだけど、戦前のことだしどんな様子だったのか、とても興味がありますね。

Q.木造建築に携わる経緯は？

とりあえず受かった大学に入ったけど、入学後は関西の大学で友人もいないし、水も合わず体調を崩して、いわゆる五月病になってちょっぴり引きこもり気味だったかしら。でも1ヶ月間悩んで悶々としている中、ファッション雑誌「nonno」のインテリアページを嬉しそうに眺めている自分に気づき、建築を学ぼうという結論を出しました。何か少女じみているけど、事実なんですよ。大学を辞めなかったのは、学科長に相談した時に「そんなに早道をしようと思わなくていいじゃないか」と言われたことですね。今になってつくづく思うけど、建築というのは総合力やバランス感覚がとても大切で、何を学んでも無駄ではないですね。

身の回りの品はラッキーカラーの赤に統一

プロフィール
建築家　三澤文子(みさわ　ふみこ)さん
1956年静岡県生まれ。奈良女子大学理学部物理学科卒業後、専門学校建を修了し民間設計事務所を経て1985年、夫・三澤康彦氏とともにMs建築設計事務所設立。2001年より岐阜県立森林文化アカデミー教授として、木造建築に携わる設計士の育成に取り組む。2005年「第2期環境ビジネスウィメン」に選出。

Q.家をつくるとは？

設計するということは最終的に形を決めることですが、人とモノをつなぐという作業が大半ですね。「家をつくる」と「家を買う」という違いは、食事に例えると分かりやすいと思います。安く、早く食べたければ、コンビニで弁当を買ってくればいいけれど、それはお腹がいっぱいになるだけですよね。でも、料理を誰かと一緒に作ろうとなったら、「何を作る」に始まり「材料をどうする」「どう作る」など色々あります。トータルで高くなってしまうかもしれないけど、工夫次第でいろいろできて楽しいですよね。だから、私たちが家をつくる時は、ハウスメーカーに比べて3〜5ヶ月くらい長くかかります。特に着工前の打ち合わせは、じっくりと6ヶ月くらいかけて納得のいくプランを決めていきます。

森を元気にする家づくり

ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
419-0305　静岡県富士郡芝川町下柚野
TEL：0544-66-0790FAX：0544-67-0567
E-mail：forest@wens.gr.jp
HP：　http://www.wens.gr.jp

私にも出来る事

家づくりを通じて
森&地域
づくりに
関わる!!

●これから家をつくろうという方へ…

通信技術が発達した現代社会では、本当に求めようとすれば情報はあるはずです。「情報がない」という人は、どれだけ本気でその情報を欲しているのかしら。本屋に並んでいる住宅雑誌を見てみると、ほとんどの雑誌が木造住宅を取り上げているし、私たちが木の家づくりを始めた25年くらい前よりはずっと多くなっていると思います。「私はこうなりたい」と言い続けていると実現するって言うじゃないですか。理想の住まいを求め続けていれば、出会いは必ずあるはずだと思います。家づくりを通じて森づくりや地域の森林にも目を向けて欲しいですね。

1.三澤文子さんからのおススメ情報

ウッドマイルズ＝地域材利用の新たな指標。住い手と共に木の家づくりに取り組んでいる三澤さん。彼女が委員として活動している「ウッドマイルズ研究会」は、住宅のいわば「地産地消」に取り組む専門家集団。

7月には、東京ビックサイトでフォーラムを開催するなど、ますます盛り上がりを見せています。地域材利用の新たな指標として、「ウッドマイルズ」という言葉が身近になる日も近いかも。

ウッドマイルズ研究会　http://woodmiles.net/
『ウッドマイルズ～地元の木を使うこれだけの理由』
2006年　農文協　共著

2.環境を仕事にした女性たち

2004年春、小池百合子環境大臣(当時)が《環境と経済の好循環》の実現に向けて話し合う為、環境関連ビジネスの経営に携わる女性を招き、懇談会が開かれました。そこに召集された女性たちは、職種・経歴・年齢もさまざまですが、パワー全開のメンバーで、懇談会もヒートアップ！第2期9名の1名に選ばれた三澤さんですが、他の女性のエコライフ＆エコビジネスも必見です。

『エコゴコロ～環境を仕事にした女性たち』
2006年 共同通信社

労金連合会財形部 大阪分室
大野憲一さんの

もり沢山 森の体験レポート

小学生の頃、登った秩父山系の登山が自然とのふれあいの始まりです。今は、ご近所の小さな雑木林や里山に愛犬とよく訪れます。名も知らない木に可憐な花がついた時の驚きや、四季折々の様々な表情を感じる楽しい時間です。

今回は広島地区にお邪魔しました。テーマは「家族や大人同士で季節の自然を楽しむ、山菜取りと山菜料理」です。日本料理には「春は苦味を盛れ」という考え方があるようです。冬眠から目覚めた熊はフキノトウを食べ、その苦味で体を目覚めさせる事から、私も美味しい物を食べて体を目覚めさせようと参加を即決しました。現地では植物博士で山菜採り名人の六重部篤志さんから、毒を持った植物があるので必要以上に採取しない、山には所有者がいる等、ミニ講義からスタート。さあ山菜採りに出発！森の学校ビオトープで熊の足跡発見。太陽で光輝く水溜りに体を寄せ合うおたまじゃくし。視線をじっと合わせたのは何十年ぶりかな。近くには、ミズメという桜に似た樹木が自生していて、樹皮を少しはいで匂ぐとなんと！サロンパスそのもの。「にてる！」「そっくり！」と歓声があがりました。ハイキングのような山菜取り、ご近所の農家から頂いた椎茸の香りは格別。さあ、いよいよ料理開始！天ぷらはタラノメ・ヨモギ・フキノトウ・筍、ツクシは煮付け、セリ・ミツバ・ノビルはお浸し和え物、椎茸は炭火焼。春の日差しにあふれた野外キッチンで、みんなが力を合わせて食事をつくり取れたての山菜を味わう、まさに森の学校の醍醐味でした。「美味しゅうございました」スタッフの松原さん、内平さんそして山菜名人に感謝です。

富士山地区
柚野エリア

元気いっぱい！新しい命の誕生

柚野エリア内前を流れる芝川

希少価値のカワノリが生育！
生育条件は水温や流速、日当たりなどが必要。歴史的には室町時代から希少価値的特産物として献上品とされていた。近年、種々の理由により生育場所が荒廃し、採取量は減少しています。

とても元気な動物たち

ヤギの赤ちゃんが生まれました！

6月初旬にヤギの赤ちゃんが2匹生まれ、それぞれ、ガーナ(♂)、チョコ(♂)と命名。お母さんのお乳を飲んですくすく育っています。

ひょうたん池
夏から秋にかけて、ひょうたん池が賑やかになる季節。カエル、トンボ、スズムシ、時にはカワセミも訪れます。

ぴよぴよ アイガモさんとご対面！

5月初旬、天気は快晴！1年を通して、田んぼ仕事を楽しみながら行う「森と田んぼのようちえん＋(プラス)」が開催されました。「きゃ～！」「カワイイ～♪」「小さ～い！」この歓声の先にあるのは、合鴨の赤ちゃんたち。合鴨水稲同時作(イネとアイガモを同時に育てる)を実践するホールアース自然学校の田んぼで、生まれて間もない合鴨の赤ちゃん達が初泳ぎをしました。ピヨピヨ鳴く姿に、大人も子どもも自然と笑顔。合鴨は、田んぼの中の雑草や害虫を食べてくれるなど、田んぼの貴重な働き手なのです。さあ人も負けてはいられません。おやつのおにぎりを食べたあとは、みんなで「田植え」に挑戦！機械は使わず、小さな稲をひとつかみずつ、ゆっくりと丁寧に植えていきました。秋にはこのお米でおいしいおにぎりを食べましょうね。

森林整備の新しい風！

今年度から始まった「週末ワークキャンプ」里山(例えば、雑木林、植林地、竹林、川、田畑などなど)をフィールドに、作業で汗を流し、里山の整備を行っています。ここ柚野という地域も、高齢化によって里山しごとをする人が減少してきているのが実情です。そこで県内外、都会の人、若い世代の力を借りて、頭で考えるよりも体を動かし汗を流しながら、地域や今後のことを考えていこう！というのがこの「週末ワークキャンプ」です。まず第1回目の4月には、放置され広がり続けている竹林の整備を行いました。長い竹を切ったり運んだりという労働の対価として、タケノコを掘って焚き火でおいしくいただきました。若い人の活躍に地主の方も大喜び。参加者も自然の中の作業によってリフレッシュできた様子。まさに両想いのこのワークキャンプ、次回も乞うご期待！

作業後、自慢の野外料理が振る舞われました

活動予定

「第3回　週末ワークキャンプ」

日時：9月14日(日)～15日(月祝)
場所：ろうきん森の学校富士山地区
(柚野エリア、芝川流域)
対象：18歳以上
参加費：3,000円(自炊・共同生活)

初秋に第3回「週末ワークキャンプ」を行います。誰でも気軽に参加してもらい、地域のこと、自然のこと、将来のことを、頭じゃなく、体を動かし汗を流すことで考えませんか。今回は、芝川のりというカワノリの保全活動を、適正な整備を通して行います。カワノリが、あなたの暮らしを見つめるきっかけとなるかも？！
(天候等により内容は変更することがあります。ご了承ください。)

福島地区

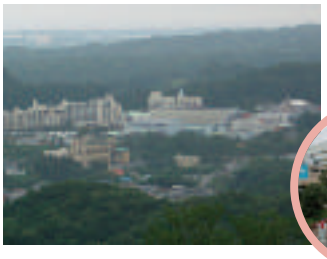
湯ノ岳エリア

初めての小麦畑 豊作に感激！

小麦畑！大豆を作った後の活用策

初めての試みでしたが好成績を収めました。今年は戸渡地区でもソバの裏作として小麦を作る予定です。

湯ノ岳山荘から車で約5~6分です。



湯ノ岳コースから眼下に、映画フラガールの舞台となった「スパリゾートハワイアンズ」をみる事ができます。温水プールもあり、大人も子供も楽しめるリゾート施設です。湯ノ岳の自然で遊んだ後や雨降り時には格好の場所です。

スパリゾートハワイアンズ

石炭化石館

常磐炭鉱閉山後炭鉱の歴史を知ってもらうためにつくったものですが、化石の展示もしてあり、一度は見ておきたいところです。湯ノ岳山荘から車で１０分、湯本駅から５～６分のところにあります。

アウトドアクッキング ～山野草の料理～

カマドで炊く、モウソウ竹でごはん！

４月２０日縄文化研究家で和光大学講師の関根秀樹先生の指導で、アウトドアクッキングの勉強会を行いました。湯ノ岳山荘周辺で採取した３０種類の山野草について、それぞれに適した料理法を学びました。山菜というと天ぷらとなりますが、自前の調味料を作ることで天ぷら以外でもいろいろな食べ方があることを知りました。そのなかでも炒った塩の味のおいしさには一同驚きました。ゴハンはモウソウ竹を器にしてカマドで炊き上げましたが美味でした。工夫次第で本当においしい食事を味わうことができることがわかりました。

ろうきん森の学校へ… 親子で体験入学！

６月７日地元労組の親子（32名）からろうきん森の学校に体験入学したいとの申し出があり、いろいろな自然体験をしてもらいました。カマドの炭火を利用した花炭作り、ヒノコの間伐材の玉切り、自然観察会、マイ箸作りなどの木工クラフト、本格的な炭焼体験、石ガマ料理体験の６つのプログラムを実施しました。晴天のも恵まれ一同満足して一日過ごしてもらうことができました。

本格的な炭焼を親子で体験！

活動予定

「磯の観察会」

日時：８月３日(日)10:00～14:00
場所：永崎海岸磯場(中の作寄り)
対象：一般(小学生未満は父兄同伴)
参加費：２００円(保険料等)
準備品：磯場で活動できる服装、履物、着替え、昼食、飲み水

ろうきん森の学校が海岸に進出！観察会では、磯場において生きものの観察会と海藻の採取をして、海藻の標本作りを行います。海岸のゴミ調査や砂の中の生きもの調査も行いますよ。

広島地区

とんぼが産卵！生態系を観察

広島地区のビオトープでは四季折々の自然を見ることができるようになりました。秋のビオトープではシオカラトンボの産卵を見ることができ、一年を通してその成長を見守ることができます。

待ちに待ったきのこの収穫！

今年は多くの人が待ちわびた秋です。というのも、昨年の3月に週末森づくり隊で菌打ちした「しいたけ」「なめこ」「ひらたけ」が発生する予定だからです。今年の秋はキノコの収穫が楽しみです。

そば好き必見

森の学校近く（車で10分）道の駅「豊平どんぐり村」で、9月21日（日）そばびと達の甲子園的存在である「第13回全日本素人そば打ち名人大会」中国予選が開催！

中国労働金庫新入職員研修

今年も女性がパワフル！

新たな一面の出会い！

中国労働金庫新入職員の皆さんが研修の一貫として、森の学校にイキイキとした様子でやって来られました。小雨の降る中、森の整備活動に取り組む18名。足元がぬかるむ中、グループで協力しながら約20段の散策路の階段を作り上げました。カケヤなど使い慣れない道具も徐々に上手く使えるようになり、空いた時間に、薪割りにも挑戦！女性のパワフルさにスタッフ一同、感心！。自然の中で体を動かす心地よさを実感できたようでした。更に人間関係に関するワークショップも体験し、リーダーシップ行動やコミュニケーションのあり方が、今後の仕事で重要な課題だと実感したようです。森の学校の活動で同期の仲間関係も深まり、身も心も引き締まった18名！これからのご活躍を期待しています！

森の学校フェスティバル

広島地区初めての試みとなるイベント型のプログラムを、GWの2日間に開催！常連の方や初参加の方、労働金庫職員やそのご家族や関係者など、300人もの方に森の学校を楽しんでもらう事ができました。両日晴天のもと、のんびり過ごしたり、カヌーや丸太切りなどの盛り沢山のプログラムで楽しんだりした参加者の笑顔が、森の学校にあふれました。この様子に、フェスティバルを企画から一緒につくりあげた40名のボランティアスタッフも大満足。ろうきん森の学校が始まって3年、今までは基盤整備が中心でしたが、今回のチャレンジの中で新たな一歩を踏み出すことができました。これからも、ろうきん森の学校に集う人々の輪を広げ、魅力ある場をつくっていきます。

丸太切り大会！一人で切れるか挑戦

活動予定

「こむぎプロジェクト」
～収穫小麦でクッキング～
日時：8月24日（日）10:00～16:00
場所：ろうきん森の学校広島地区
（広島県山県郡北広島町今吉田）
対象者：小麦づくり・パンづくりに興味のある人
（高校生以上、ファミリー）
参加費：一般2,000円/中学生以下1,500円
森の学校サポーター1,700円

こむぎプロジェクトでは、ろうきん森の学校近くの休耕田を利用し、国産小麦ニシノカオリを育てました。7月に収穫した小麦を使って、小麦料理にチャレンジする「こむぎパーティー」を開きます！人気、好評の「食とのデートタイム」では、遊び感覚で楽しみながら、食と向き合ってみましょう。

ろうきん森の学校 活動予定

※「わくわく探検隊」は全8回シリーズ。通年の登録参加です。
※ 毎週月曜日は里山整備活動。参加自由・無料。初参加は問い合わせを。

富士山地区
●裾野エリア
●田貫湖エリア
●御殿場エリア

福島山地区
●湯ノ岳エリア
●岩出・好間・藤原エリア

広島地区

8月

富士山地区
日程 2日(土)～3日(日)
内容 森と畑のようちえん＋(プラス)☒ ～水であそぶ～
対象 3歳～小２のお子様とそのご家族
費用 18,000円(親子1組) 追加…大人10,000円 子ども(小2まで)5,000円

福島山地区
日程 23日(土) 内容 自然わくわく観察会 ～炭焼き体験～
対象 誰でも参加できます。
費用 1人500円

定例作業（誰でも参加できます。当日9時、現地集合）
●第1、第3土曜日・毎週水曜日・・・森林整備
●第2、第4土曜日・毎週月曜日・・・農作業
●第1、第3日曜日・・・調査
●第2、第4土曜日・・・自然体験プログラム勉強会

広島地区
日程 23日(土)
内容 地域イベント「サンちゃんS村」出前プログラム(ネイチャークラフト)
対象 誰でも可
費用 無料

日程 24日(日)
内容 こむぎプロジェクト ～収穫小麦でクッキング～
対象 高校生以上 ファミリー
費用 一般2,000円 サポーター／学生1,700円 中学生以下1,500円

9月

富士山地区
日程 6日(土)～7日(日)
内容 森と田んぼのようちえん＋(プラス) ～稲刈りとはざかけ～
対象 3歳～小２のお子様とそのご家族
費用 18,000円(親子1組) 追加…大人10,000円 子ども(小2まで)5,000円

日程 14日(日)～15日(月)
内容 週末ワークキャンプ☒ ～地域の里山整備～
対象 大学生以上
費用 3,000円 (自炊3食・共同生活)

日程 20日(土)
内容 自然わくわく観察会 ～木工クラフト～
対象 誰でも参加できます。
費用 1人500円

福島山地区
日程 23日(土) 内容 自然わくわく観察会 ～木工クラフト～
対象 誰でも参加できます。
費用 1人500円

定例作業（誰でも参加できます。当日9時、現地集合）
●第1、第3土曜日・毎週水曜日・・・森林整備
●第2、第4土曜日・毎週月曜日・・・農作業
●第1、第3日曜日・・・調査
●第2、第4土曜日・・・自然体験プログラム勉強会

広島地区
日程 20日(土)～21日(日)／1泊2日
内容 わくわく探検隊～わくわくキャンプ～
対象 小学3～6年生
費用 32,000円(全8回分：通年参加)

10月

富士山地区
日程 4日(土)～5日(日)
内容 森と畑のようちえん＋(プラス)☒ ～火であそぶ～
対象 3歳～小２のお子様とそのご家族
費用 18,000円(親子1組) 追加…大人10,000円 子ども(小2まで)5,000円

日程 19日(日)
内容 ろうきん森の学校 田貫湖秋まつり☒ 森の学校自然体験プログラム
対象 誰でも参加可能。
費用 無料 (一部有料PGもあり)

福島山地区
日程 23日(土) 内容 自然わくわく観察会 ～野外料理～
対象 誰でも参加できます。
費用 1人500円

定例作業（誰でも参加できます。当日9時、現地集合）
●第1、第3土曜日・毎週水曜日・・・森林整備
●第2、第4土曜日・毎週月曜日・・・農作業
●第1、第3日曜日・・・調査
●第2、第4土曜日・・・自然体験プログラム勉強会

広島地区
日程 18日(土)
内容 自然観察会 ～キノコ観察とキノコ料理～
対象 高校生以上／ファミリー
費用 一般1,500円 サポーター／学生1,200円 中学生以下1,000円

Infomation
NPO法人ホールアース研究所
419-0305　静岡県富士郡芝川町下柚野
TEL:0544-66-0790FAX:0544-67-0567
E-mail:forest@wens.gr.jpHP:
http://www.wens.gr.jp
Access
電車:JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車:東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分

Infomation
NPO法人いわきの森に親しむ会☒
970-8326　いわき市常磐藤原町湯の岳２湯ノ岳山荘内☒
TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
HP:http://www16.plala.or.jp/goan/
Access
電車:JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車:東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分

Infomation
NPO法人ひろしま自然学校☒
〒733-0004　広島市西区打越町11-8-207
TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
E-mail:nkk2002@mac.com
HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access
Access
電車:JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車:広島自動車道広島北I.Cより20分

樹になる話

葉

春から初夏にかけ、木は沢山の葉を茂らせます。その葉たち、実はオジギソウのように動いているという。理由は、雨粒や葉を食べる動物・昆虫から身を守る為…。蒸散を控え水分保持の為…。効率の良い光合成の為…と言われています。見上げると若々しく生茂る木々が目に眩しい…。繁茂する葉は、今何を思い、葉を広げているのだろう…。

事業概要

ろうきん森の学校は、日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。

ろうきん森の学校だより　Vol.10　発行：ろうきん学校全国事務局　発行日：2008年7月20日
制作：アーズデザイ 工藤和子/Assistant ほしのけいこ(CO･KYUN)　印刷：共立印刷株式会社
※この通信は、古紙100%の再生紙 ベジタブルインクを使っています。

ろうきん